



(図) 第62回国連女性の地位委員会優先テーマ「農山漁村の女性・女児のジェンダー平等とエンパワメント達成のためのチャレンジと機会」のシンボル・バナー

会長のメッセージ

CSW62開催中の強烈な興奮は過ぎ去りました。しかし、GWIは世界の全ての女性と女児のために歩み続けます。1947年以来毎年ニューヨークでCSWが開催される二週間は、心と同じくする女性たちが集い、女性と女児の権利について議論し、互いに学び合い、提唱、連携し合う「時」であり続けています。

今年もそのことに変わりなく、成果を上げることができました。次の方々のご尽力に、心より御礼申し上げます。GWIから代表団を編成し、適切な情報発信や会合準備から情勢把握までされた副会長の Hazel Vowen 教育提唱理事。ゼロドラフトから最終案まで合意結論文書に関し任を果たされた副会長 Louise McLeod マーケティング担当理事。GWIの国連代表の Sophie, Maureen, Mick および Maryella には、年間を通して職務に当たっていただき、会期中はモーニングブリーフィングで有益な情報提供をいただきました。代表団の皆さんには、各国からの参加旅費ならびに寒いニューヨークでの高価な宿泊費をご負担いただき、連日の会議へ参加し報告書を書いていただきました。限りなく献身的な事務局長の Stacy は実に多くの仕事をこなし、ここでも「志ある所に道あり」を身をもって示してくれました。

あらためて、私たちの共通のヴィジョンである公正で平等な社会実現に向けた、強い決意とリーダーシップ、ならびに一致団結の気持ちを、皆さんが直に具体的に示してくださいましたことに感謝いたします。

敬具

GWI 会長 Geeta

Desai

会長による CSW62 緒言と閣僚級円卓会議レビュー

会長は開催日早朝に、優先テーマである「農山漁村の女性と女児のジェンダー平等とエンパワメント達成のためのチャレンジと機会」について、その対象である女性と女児の多様な背景を認識したうえで、いかなる条件下によらず彼女たちが被り続けている社会的経

済的不公正は、家父長制度の下での根強い因習と交差する世界的および各国・各地域の政策立案の遅れの結果であり、決して避けがたいものとして見過ごされるべきでないことを、綿密で豊富な情報に基づき、強く主張するステートメントを発表した。本文は[こちら](#)。また、会期に先立つ専門家による準備会合の重要性に着目し、閣僚会議のポイントを要約報告した。[第一回会議](#)、および第二回会議のパート別[1](#)、[2](#)、[3](#)、[4](#)の要約本文は、それぞれ青色部分をクリック。

その他

CSW62の概要と、レビューテマへの取り組みの評価、ユース・ダイアログ、GWIメンバーによる各種イベントの紹介と評価、会員の活躍について、詳細を報告した。JAUWからの参加者たちの写真も掲載。

[本文](#)でご確認ください。